

～台風や大雨が近づいている～ そんなニュースを見聞きしたら

**防 災
気象情報**

6月は梅雨前線、7月から10月にかけては台風の接近・上陸が多くなります。近年では各地で、川の急激な増水、道路や住宅の浸水といった被害が発生しています。

災害から命を守るためには、一人ひとりが自らの命を守る「自助」が重要で、「自助」のために役立つのが、気象庁が発表している気象警報・注意報などの「防災気象情報」です。

「台風や大雨が近づいている」というニュースを見聞きしたら、テレビやラジオ、インターネットなどで伝えられる防災気象情報を参考にして、適切な避難行動をとりましょう。

◎防災気象情報と命を守る行動

気象庁から発表される防災気象情報は、自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。



防災気象情報	命を守る行動
<ul style="list-style-type: none"> 大雨特別警報 氾濫発生情報 	今いる建物内で、直ちに安全確保 「上の階」「崖から離れた部屋」に移動
<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 	周囲に声を掛け合って、安全・確実に避難 「指定避難所」「安全な親戚・知人宅」
<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 	避難に時間がかかる高齢者等は安全な場所に避難 「指定避難所」「安全な親戚・知人宅」
<ul style="list-style-type: none"> 大雨注意報 洪水注意報 	ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難先、避難経路を確認。

※状況が急変することもあります。河川の水位情報などの防災気象情報を参考にし、自ら避難の判断をしてください。

※暴風や浸水で避難場所への移動が危険な場合は、家の中のできるだけ安全な場所で待機したり、近隣の頑丈な建物へ移動することも考えてください。



小坂町地域おこし協力隊

協力隊コラム

熊澤 圭祐さんの 一粒の実になって

5月17日に小坂小学校で4年生のぶどう授業がありました。これから年3回の授業を通して、小坂町のぶどうの歴史などを学んでいきます。今回は座学を行ってから畑とワイナリーの見学、2回目は畑での収穫作業、そして3回目は12月にぶどうジュースを造ります。

先日の授業では、あいにくの天気となったため畑の見学は出来なかったのですが、ワイナリーの見学では、小学生の皆さんも興味津々だったようで色々な質問が飛び交いました。

「どうして赤ワインは濃い赤になるのですか?」「発酵期間はどのくらいですか?」など、ガイドのアシストになるような質問も要所にあり、小学生の皆さんにはとても助けられました。そして、私が説明しているときも、皆さんは真剣にメモを取りながら話を聞いていました。

見学が終わった後、「早く大人になってワインを飲みたいな」や「家でお父さんがこのラベルのワインを飲んでいたよ」、「僕もここで仕事します」などとといった嬉しい言葉も掛けられました。次回の授業でぶどうの収穫を皆さんと一緒にするのが今からとても楽しみです。



「広報こさか」は、毎月10日の発行日に自治会に届けているため、皆さんのお手元に届くまでに若干の日数を要することがあります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承くださいようお願いいたします。

広報こさか [No.1177] 2024年(令和6年)6月号 (毎月10日発行)

編集・発行/小坂町役場総務課 (〒017-0292 秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1 TEL0186-29-3901 FAX0186-29-5481)

町のホームページ <https://www.town.kosaka.akita.jp/> Eメール koho-kosaka@town.kosaka.akita.jp

この冊子は環境に配慮し、再生紙および植物油、大豆インクを使用しています。